



『克己復礼』

東筑会会長

高山和幸

(56期)



東筑会の皆様には日頃から東筑会のため、ご協力ご支援を賜わりまして厚くお礼を申し上げます。

平成27年度東筑会総会におきまして、三たび会長にと会長推薦委員会の推薦をいただき、皆様のご承認をいただきました。2期6年は、役員幹事をはじめ会員の皆様のご支援ご協力を賜わりまして大過なく務めることができました。厚くお礼を申し上げます。微力非才ながら、三たび心機一転、一意専心努力いたす所存でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。早速、新役員体制により、本年度の事業計画に基づき運営を推進いたしております。

東筑会総会ならびに懇親会には、全国から遠路お越しの方も多く、皆様のご出席をいただきまして盛大に行われました。一年に一度の機会ではありますが、大いに交流を深められたことと存じます。今後とも多数の皆様のご出席を祈念いたします。

また、当番期85期の皆様には諸準備ならびに運営のご苦勞に対しまして敬意と感謝を申し上げます。来年度の当番期86期の皆様には諸準備等よろしく申し上げます。

さて、母校東筑では今春、ラグビー部が全国高校選抜大会に初の出場を果たしました。花園以来15年ぶりの全国大会出場です。後輩たちの大いなる活躍に東筑会の皆様には多大なるご支援ご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。

また、福岡県高校総合体育連盟の学校対抗優勝を収め、上級学校への進学においても県下五指に入る実績を誇っています。「文武両道」における目覚ましい活躍、有形無形のさまざまなことを学んだ113期生が卒業し東筑会に入会しました。今後一層の努力と精進を重ね、真の実力を発揮され、世界に大きく羽ばたき活躍されんことを期待しますと激励を申し上げます。

一方、最近の世相を見ますとあまりにも殺伐非道なものがあります。孔子は、『克己復礼』自分の私欲私情、わがままに打ち克ち、社会の規範や礼儀に従って行動すること。と教えています。人間の生き方として古人の言動は大いに参考になるものと思います。

最後になりましたが、母校東筑の益々の発展と東筑会の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

本気の文武両道



東筑会会員の皆様には、ますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私も本校に着任して二年目を迎えました。着任当初、東筑生の凛とした清々しさに「さすが名門東筑」と感銘したことを覚えています。今年は、志を高く掲げて日々邁進する生徒諸君の姿に、ますますその感を深める毎日です。また、着任当初に高山会長から「あなたの思うとおりにやりなさい。そして、東筑に新しい風を吹き込んでくれ。」という言葉をいただき、東筑会の懐の深さにも感銘を覚えました。どこまで新しい風を吹き込むことができたか心許ない面もありますが、今後もご期待に添えるよう精一杯務めますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度は、「本気の文武両道を実践して、進学実績・部活動実績をとくに伸ばす」「日々の教育活動を通して、心身ともにたくましい生徒を育てる」「SSH事業とキャリア教育の融合を図る」の三つを教育目標に掲げ、東筑高校がさらに躍進するよう教職員一同全力で取り組んでいます。現在、本校の勢いは県下にとどまらず全国へと及んでいます。難関大学をはじめとする大学合格者数の増加、入試倍率の上昇に見られる人気の高まり、九州大会や全国大会に出場する多くの部活動の活躍

学校長 花岡 俊彦

などが、そのことを物語っています。また、今年度は文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業が三年目を迎えます。国立教育政策研究所の後藤顕一総括研究官からは、「東筑高校のSSHは、いま国が進めている教育改革の先駆けとなる先進的な取組で、大変関心を持っています。」との評価もいただいています。

生徒諸君は「本気の文武両道」の合い言葉のもと、勉強に部活動に学校行事にと一所懸命に取り組んでいます。全校生徒の九割近くが部活動に所属し、ほとんどの部が県大会に出場しています。昨年度末には高校体育連盟学校表彰で優勝を果たし、公立・私立を含めた県内すべての高校のなかで、運動部が最も活躍した学校として認められました。春には、ラグビー部が全国選抜大会に出場し大活躍しました。この夏には、運動部では陸上部、ボート部、総合部（空手道、馬術）が九州大会・全国大会に出場、文化部では将棋部と囲碁部が全国大会に出場します。野球部も昨年に引き続き県大会に出場し、ベスト8の成績で存在感を示してくれました。

東筑生たちは長い伝統に培われた校風を脈々と受け継ぎながら、洗刺と学校生活を送っており、東筑高校は今も活気に満ちあふれています。どうか、東筑生諸君の今後の更なる活躍にご期待ください。

最後になりましたが、東筑会の皆様の母校に寄せる熱い想いに応えるべく、教職員一同全力を尽くす所存ですので、今後ともご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

待望のエレベーター設置

東筑高校のバリアフリー化推進のため、管理棟新築時にエレベーター用スペースは確保されましたが、今年度、県の予算が付き、エレベーター本体設置の運びとなりました。

今までは高齢の外来者などにご不自由をお掛けしていましたが、今後は少しでもお役に立てれば幸いです。

平成27年8月28日竣工（工事期間・約3カ月）

（株）日本オーチス・エレベーター社製
扉の色…スクールカラーのえんじ色

定員…11名

特徴…内部にてすりを設置／押しボタンは低めの位置で左右に配置など、使う人に優しい配慮をしています。



公益財団法人 東筑奨学会 支援のお願い

事務局

〒807-1083

北九州市八幡西区則松

二丁目2番24号

福岡県立東筑高等学校 東筑会館内

電話 093-603-6815

財団法人「東筑奨学会」は昭和56年6月に、学校法人東筑学館の解散後の残余財産を基礎とし、同窓会、PTA及び地域有志の方々のご寄附を基本金として設立されました。その設立の趣旨は「経済社会の激変、グローバル化に伴う、近年思想の著しい混乱の中にあつて、心身ともに発展途上にある子弟の学校教育並びに社会教育が主要である」との観点から、福岡県立東筑高等学校の教育の充実と健全なる校風の振興を援助し、併せて北九州地区の教育の振興に寄与することを目的としています。

具体的活動としては、在校生に奨学金を支給し、或いは生徒の範となる者に対して卒業時に記念品を贈っています。学業成績が特に優れた者、部活動で全国大会優勝、またはこれに準ずる成績をあげた者、三年間を通じて皆勤した者が対象となっています。

今後、東筑高等学校も百年の歴史の大きな節目を経て、新たな世紀に歩を進めておりますが、本奨学会も、時代の進展に忠じて、事業内容を更に精選充実し、東筑高等学校の文武にわたる振興のために活動いたしたいと思っております。つきまして、皆様にも物心にわたるご支援をお願いいたします。

二十一世紀を担うに足る有徳の青年の育成を目指している東筑高等学校の今後の更なる発展を期して、多くの皆様のご理解

とご協力をお願いいたします。

なお、ご承知のとおり新公益法人制度が施行され、平成26年4月1日より一般財団法人としてスタートしましたが、種々の制約を乗り越え平成27年4月1日より公益財団法人東筑奨学会として再スタートしました。その結果、皆さんにご支援いただく寄附金は公益財団法人東筑奨学会の領収書を添付すれば皆さんの所得金額から税法で規定された金額が控除されます。

又、個人が土地、建物、株式などの資産を法人に寄付した場合には、これらの資産は寄付時の時価で譲渡があったものとみなされ、これらの資産の取得から寄付時までの値上がり益に対して所得税が課税されます。ただし、これらの資産を公益法人等に寄付した場合に於いて、その寄附金が教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献、その他公益の増進に著しく寄与することなど一定の要件を満たすものとして国税庁長官の承認を受けたときはこの所得税について非課税とする制度が設けられています。勿論その資産の取得価額は寄付金となり、寄付金控除の対象となります。

岡垣東筑会
宗像東筑会
フレンドリー転手町東筑会
水巻東筑会
ふくおか東筑会
小宮 董(56期)
東筑会総会時
PTA・母の会
芦屋東筑会
北九州くきのうみ東筑会
東筑高校84期会
広島東筑会
豊倉辰志(57期)
卒業生(氏名不詳)
卒業生(島郷地区東筑会)
寄付金総額
1,148,956円(16件)

公益財団法人 東筑奨学会

理事長 小野

晃

平成26年度寄付者(敬称略)

※奨学基金へのご寄付は、左記へ振込みください。ようお願ひ申し上げます。

| | |
|--------------|---------|
| 福岡銀行 | 折尾支店 |
| 普通預金 | 1321864 |
| 公益財団法人 東筑奨学会 | |
| 西日本シティ銀行 | 折尾支店 |
| 普通預金 | 1735106 |
| 公益財団法人 東筑奨学会 | |

輝かしき快拳

陸上部全国第7位

母校陸上部の江田涼さん(3年)が6月26、28日に新潟で行われた第99回日本陸上競技選手権大会に女子400mで出場しました。また、7月29日、8月2日に和歌山で行われた第68回全国高等学校陸上競技対校選手権大会には女子200mと400mに出場し、400mでは第7位に入賞しました。



高山会長を三度選任

東筑高等学校同窓会の総会・懇親会が平成27年6月6日(土)に北九州八幡ロイヤルホテルにて開催されました。

15時から万葉の間にて総会が開かれました。開会の辞に続いて、高山会長、花岡校長がご挨拶され、来賓の小野東筑筑学会理事長からお祝いの言葉を頂戴いたしました。

その後、高山会長を議長に選出して、議案の審議となり、平成26年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、および平成27年度事業計画案、収支予算案、会長選任で高山会長の選任、が意義なく承認されました。

総会終了後の16時からロイヤルホールにて懇親会が催されました。「胸に刻みし東筑魂」よしや幾歳過ぎぬとも 東筑魂はひとつまつ友あれば」のテーマのもと、全国各地から集合した約1,200名の同窓生が旧交をあたため、懇親を深めました。どの方もまだまだ話足りない様子でしたが、来年の再会を約束し、閉会のことばとともに笑顔で会場を後にしました。

平成27年度 総会報告

平成27年度事業計画

会則第2条(本会の目的)達成のため、平成27年度は下記の事業を行う。

- ① 母校発展のため、教職員・生徒・父母との密接な連携・グローバルビジネス研修、国内ビジネス研修の支援・卒業生による講演会の講師協力・図書館の充実
- ② 各地区東筑会との連携強化
- ③ 組織網の強化(組織委員会)
- ④ 年会費の納入促進(財務委員会)
- ⑤ 東筑会報(第36号)の発行(会報委員会)
- ⑥ 東筑会館史料展示室の整備

平成27年度 一般会計予算書

| | | 自 平成27年 5月1日 至 平成28年 4月30日 | |
|--------------|------------|---|--|
| 費 目 | 予 算 | 備 考 | |
| 繰越金 | 2,975,450 | | |
| 入会金 | 4,929,600 | 4,800×1,027人(114・115・116期) | |
| 会費 | 6,600,000 | 2,000×3,300人 | |
| 名簿収入 | 0 | | |
| 雑収入 | 30,000 | 預金利息 他 | |
| 計 | 14,535,050 | | |
| [支 出] | | | |
| 費 目 | 予 算 | 備 考 | |
| 総会費 | 1,000,000 | 当番期(86期)へ | |
| 会議費 | 150,000 | 議案書、各種会議案内状等 | |
| 記念品費 | 200,000 | 卒業証書入れ(アルバム式) | |
| 会報費 | 3,350,000 | 会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料 | |
| 慶弔費 | 450,000 | 各地区東筑会、学校行事祝儀等 | |
| 旅費交通費 | 200,000 | 各地区東筑会総会出席 | |
| 会館管理費 | 90,000 | 休祝日、時間外手当 | |
| 事務局費 | 960,000 | 電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料 | |
| 振替手数料 | 450,000 | 会費振込手数料 | |
| 賃金 | 1,650,000 | 事務局員 | |
| 教育振興費 | 2,100,000 | 母校教育振興・定期野球大会・ジニアス研修補助金・図書館の充実 | |
| 基本金 | 2,000,000 | 基本金会計へ | |
| 予備費 | 1,935,050 | | |
| 計 | 14,535,050 | | |

平成26年度 一般会計決算書

| | | 自 平成26年 5月1日 至 平成27年 4月30日 | |
|--------------|------------|---|--|
| 費 目 | 決 算 | 備 考 | |
| 繰越金 | 2,315,688 | | |
| 入会金 | 5,304,800 | 4,800×1,109人(113・114・115期) 休転学▲18,400 | |
| 会費 | 1,810,000 | 2,000×891人・4,000×7人 | |
| 名簿収入 | 1,629,600 | 4,200×388人(113期生) | |
| 寄付金 | 50,000 | 豊倉辰志氏より50,000 | |
| 基本金より | 2,000,000 | | |
| 雑収入 | 85,299 | 22・25年度版名簿、預金利息 他 | |
| 計 | 13,195,387 | | |
| [支 出] | | | |
| 費 目 | 決 算 | 備 考 | |
| 総会費 | 1,000,000 | 当番期(85期)へ | |
| 会議費 | 130,726 | 議案書、各種会議案内状等 | |
| 記念品費 | 214,164 | 卒業証書入れ(アルバム式) | |
| 会報費 | 3,321,561 | 会報、封筒、振込用紙印刷、会報郵送料 | |
| 慶弔費 | 407,052 | 各地区東筑会、学校行事祝儀等 | |
| 旅費交通費 | 136,000 | 各地区東筑会総会出席 | |
| 会館管理費 | 82,836 | 休祝日、時間外手当 | |
| 事務局費 | 943,611 | 電話・電気料、通信費、プロバイダ料、コピー機リース料、事務室使用料、HPサーバー料、コピー機トナー | |
| 振替手数料 | 104,728 | 会費振込手数料 | |
| 賃金 | 1,650,000 | 事務局員 | |
| 教育振興費 | 2,229,259 | 母校教育振興・定期野球大会・生徒派遣補助金・図書館の充実 | |
| 基本金 | 0 | 基本金会計へ | |
| 予備費 | 0 | | |
| 計 | 10,219,937 | | |
| 差し引き残高 | 2,975,450 | 次年度へ繰越 | |

平成26年度 東筑会会計監査報告

東筑会会長 高山 和 幸 殿
このことについて、下記の通り報告します。

記

平成26年度「東筑会一般会計」「東筑会基本金会計」について、出納簿・証拠書類等を精査、照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成27年 5月11日

会計監査 矢野 定延 ㊦
会計監査 井土 光徳 ㊦

平成26年度 基本金会計決算書

| | | 自 平成26年 5月1日 至 平成27年 4月30日 | |
|-----|------------|-------------------------------|--|
| 費 目 | 金 額 | 備 考 | |
| 繰越金 | 22,610,438 | | |
| 繰入金 | -2,000,000 | 一般会計へ | |
| 雑収入 | 3,886 | 4,210(預金利息)-324(残高証明書) | |
| 計 | 20,614,324 | 次年度へ繰越 | |

●新役員が決まりました●

6月6日の総会に於て高山和幸会長の留任が決定されまして、新年度役員・幹事・委員に次の方々が選出されました。東筑会の更なる発展のためにご尽力お願いいたします。

(◎は常任幹事)

役員

| | | | |
|------|--------------|-------------------|--------------------|
| 名誉会長 | 花岡 俊彦 (母校校長) | (46期) 日高 英俊・加藤 正道 | (81期) 赤松 由隆・坂井 浩司 |
| 会長 | 高山 和幸 (56期) | (47期) 石松 英幸・村上 干潮 | (82期) 神森 正茂・江口 暢啓 |
| 副会長 | 高野 利昭 (57期) | (48期) 荒木 孝治・安部 一正 | (83期) ◎大藤安俊・◎徳永圭裕 |
| 〃 | 廣田 貴子 (65期) | (49期) 永田 憲生・神坪 利幸 | (84期) 松尾 康徳・秋月 裕幸 |
| 〃 | 高崎 徳彦 (68期) | (50期) 葉山 隆・高橋昭八郎 | (85期) 横尾 素道・山下耕太郎 |
| 〃 | 佐竹 真人 (74期) | (51期) 江藤 幹男・山崎八江子 | (86期) 藤富 誠吾・笹川 正秀 |
| 〃 | 福山 岳彦 (76期) | (52期) 田代 栄一・成清 英子 | (87期) 船元 幸徳・廣渡 実和 |
| 幹事長 | 長野 熙 (56期) | (53期) 小野 亨雄・松尾 壽也 | (88期) 柴田 泰山・田中 良知 |
| 副幹事長 | 原田 美穂 (78期) | (54期) 田中 静子・末吉 倫雄 | (89期) 井上 亮・松本 卓志 |
| 〃 | 中川 靖啓 (79期) | (55期) 大迫 隆典・末松 恒雄 | (90期) 松尾 智章・小野山美緒 |
| 〃 | 小野 裕和 (81期) | (56期) 前田 義昭・◎安部久喜 | (91期) 櫻井 康雅・福山 貴子 |
| 〃 | 神森 正茂 (82期) | (57期) 森 肇・◎夜部栄子 | (92期) 山部 和範・加藤 敦子 |
| 会計 | 石神 務 (69期) | (58期) 須藤 達一・川原 晴美 | (93期) 平井 健・吉村 知子 |
| 〃 | 江口 暢啓 (82期) | (59期) 木村 久光・三好 伸介 | (94期) ◎馬田智也・◎三原朝利 |
| 監査 | 矢野 定延 (55期) | (60期) ◎有田秀明・森 スマ子 | (95期) 清本 芳史・川野由香梨 |
| 〃 | 井土 光徳 (61期) | (61期) ◎古賀正博・中本 正道 | (96期) 中村 寛・中村 正江 |
| 特別顧問 | 小野 晃 (51期) | (62期) ◎栗田修一・山住 道子 | (97期) 山口 伸治・宮崎 彩 |
| 顧問 | 竹尾 昭 (45期) | (63期) 川原 克彦・井上 俊子 | (98期) 小早川知徳・貞清 育恵 |
| 〃 | 日高 康 (53期) | (64期) 池田 隆吉・吉田 泰一 | (99期) 藤田 祥平・保月 昇子 |
| 〃 | 白石 千春 (58期) | (65期) ◎大橋憲市・吉田 清二 | (100期) 渡辺 大樹・花田 裕子 |
| 相談役 | 浜中 茂足 (43期) | (66期) ◎加来久幸・小川 博幸 | (101期) 平田 鷹司・和田早紀子 |
| 〃 | 樋高 龍治 (53期) | (67期) 後田 広治・黒川 正幸 | (102期) 柴岡 秀年・坂本 一子 |
| 〃 | 三原 朝彦 (64期) | (68期) 櫻井日出也・田島 武 | (103期) 山下 浩平・大田 美子 |
| 事務局長 | 小川 邦彦 (77期) | (69期) 末吉 信之・田中 廣美 | (104期) 江田 浩昭・齊藤 純子 |
| 事務次長 | 富永 敏郎 (72期) | (70期) 須藤 正樹・濱田 泉 | |
| 〃 | 増本 俊記 (85期) | (71期) 石丸 靖彦・三宅 正輝 | |
| 事務局 | 藤澤 泰尊 (65期) | (72期) 長畑 重弘・◎草野克也 | |
| | | (73期) 大峯 一純・南野 義明 | |
| | | (74期) 堀江恵美子・佐竹 真人 | |
| | | (75期) 阿高 和憲・奥田 尚弘 | |
| | | (76期) 竹内 容子・菊竹 史郎 | |
| | | (77期) 太田 清治・徳崎 康司 | |
| | | (78期) 吉松 秀雄 | |
| | | (79期) 中川 靖啓・◎藤井 潤 | |
| | | (80期) 天野 浩文・江口 悟 | |

幹事

- (39期) 刀根 博愛
- (41期) 佐藤 通泰
- (42期) 木下 秋雄・吉田 繁美
- (43期) 古川 重美
- (44期) 滝瀬 博志
- (45期) 井川 恒利

各委員会

- 組織委員長 日高 教夫 (64期)
- 会報委員長 青野 元昭 (70期)
- 財務委員長 三宅 正輝 (71期)

お願い

代表幹事が交代する場合は同期で打合せのうえ、後任者を事務局長にお届け下さい。
不活幹事は運営に支障をきたすことが予想されます。

当番期を終えて

去る6月6日の同窓会総会・懇親会では、母校東筑高等学校をはじめ、恩師の先生方や数多くの皆様のお力添えにより無事盛会に終えることが出来ましたこと厚く御礼申し上げます。またそれまでの準備の期間中も、当番期活動に数多くの励ましのお言葉を頂戴しました。重ねて厚く御礼申し上げます。

5月に行われましたゴルフ会では、天候にも恵まれ、皆様の力強いプレーと、同級生との再会を楽しむ皆様の笑顔を拝見することができました。更には各地での地域東筑会へも参加させて頂き、先輩諸氏から心温まるお言葉を頂戴し

ました。どれもこれも私どもも当番期にとつて、忘れられない貴重な思い出となりました。ありがとうございます。

昨年6月、84期の先輩方の運営される素晴らしい懇親会を目的に、自信を喪失して、見様見真似の1年間でした。しかし同級生とは不思議なもので、30年間の空白期間をあつという間に乗り越え、自信など全く無かつた高校時代にタイムスリップして、でもあの時とは違う、少しばかり大人になった自信というか、「みんなで頑張れば何とかかなるさ」という、妙な大人の開き直りの1年間だった様な気がします。

85期会長 泉 裕司

先日、当番期活動を終えてから毎月同期会をされているという53期の先輩から、「あんだ達も(当番期を終えた)これからが本当の同級生ばい」というお言葉を頂戴しました。当番期活動といふこれからの「きつかけ」をお与え頂きましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

末筆となりましたが、東筑会の益々のご発展並びに会員皆様方のご健康と、86期の皆様のご活躍を祈念いたしましたことご挨拶とさせていただきます。

当番期を迎えて

去る6月6日の東筑会懇親会にて、85期の泉先輩より当番期の「禱」を受け継ぎました。

例年、総会・懇親会の運営は素晴らしく、特に終盤の「応援団」と「校歌斉唱」には、毎年毎年感動しておりますが、いよいよ我々86期が当番期となり、この大役を務めさせて頂くことになると思つと、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

皆様に喜んでいただける総会・懇親会を企画運営できるかどうか不安もございしますが、先輩方が脈々と築いてこられた歴史と伝統「文武両道」「質実剛健」の精神をしつかりと引継ぎ、そして後輩た

ちへ繋いでいけるよう、86期一同、精一杯、当番期としての役割を全うして行く所存です。同窓の皆様には温かいご指導とご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

また、当番期として、北は北海道東筑会から、南はひのくに東筑会まで、日本全国の地域東筑会にも参加させて頂きます。全国津々浦々、各方面で活躍されている先輩方や後輩諸君にお会いできることを心より楽しみにしております。

さらに例年5月の東筑会ゴルフ大会は、年々盛り上がりが増してきております。来年も楽しく賑やかなコンペになるよう、万全の準備を進めてまいりますので、沢山

86期会長 岩男 剛

の皆様のご参加をお待ちしております。

母校を卒業して30年近くが経ち、40歳半ばにして当番期を迎えます。人生と真ん中にして、青春と真ん中を一緒に過ごした仲間と再会できる。また、時代を超えて先輩、後輩達と東筑高校の歴史と伝統を再確認できる。こんな素敵な機会を戴いたことに感謝しながら、86期一同、心を一つにしつかりと準備を進めて参ります。

来年度の東筑会総会・懇親会への皆様のご参加を心からお願ひ申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

◆ 第32回 東筑会ゴルフ大会成績 ◆

さる5月8日(金)に、若宮市の『ザ・クラシックゴルフ倶楽部』にて、第32回東筑会ゴルフ大会を開催いたしました。当日は晴天・微風というゴルフ日和の中、43期から96期までの総勢231名にご参加いただき、大変盛況なゴルフ大会となりました。

ザ・クラシックゴルフ倶楽部のダブルペリア方式でハンディキャップを算定し、成績を集計いたしました。優勝トロフィー争奪の団体戦におきましては、優勝から5位までが4ポイント差にひしめく大接戦となりました。ここに大会成績を発表させていただきます。入賞されました皆様方には、心よりお祝い申し上げます。

(敬称略)

団体の部

優勝 58期 準優勝 57期
3位 61期

個人の部

●グランドシニアの部【～61期】

優勝 小川 哲朗 (58期)
準優勝 岡住 奏 (58期)
3位 荒牧 靖 (61期)

●シニアの部【62期～71期】

優勝 荒井 泰雅 (69期)
準優勝 山本 隆志 (71期)
3位 山口 修平 (65期)

●一般の部【72期～】

優勝 村上 修一 (81期)
準優勝 小野 裕和 (81期)
3位 小屋町法之 (72期)

●レディースの部

優勝 花田多都子 (57期)
準優勝 野原 俣枝 (58期)
3位 小川三穂子 (58期)

皆様のおかげで怪我人や体調不良者もなく、無事にゴルフ大会を終えましたことを報告させていただきます。ありがとうございます。

85期東筑ゴルフ大会委員長 森 保



各部活動状況

(県大会出場以上を掲載)
(平成27年8月31日現在)

〈囲碁部〉

- ・第29回全九州高校囲碁選手権大会
女子団体 2位
- ・第39回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会県大会
- 男子団体 2位・3位
- 女子団体 1位
- ・第39回全国高総文祭囲碁部門(滋賀大会) 県予選
- 男子団体 1位

〈将棋部〉

- ・第21回県高文連新人大会
女子個人 優勝・2位
- ・第22回県高文連選手権大会
女子団体 優勝
- 男子個人A・B 各々2位

〈吹奏楽部〉

- ・県高総文祭県大会 優秀賞
- ・第8回県アンサンブルコンテスト 銀賞
- ・平成27年度県コンクール 銀賞

〈書道部〉

- ・西日本新聞書道之友展2014
特選・奨励賞

〈美術部〉

- ・第28回デザインコンペ
優秀賞・特選・入選

〈物理部〉

- ・第58回日本学生科学賞福岡県審査
優秀賞

〈化学部〉

- ・第58回日本学生科学賞福岡県審査
努力賞

〈生物部〉

- ・第58回日本学生科学賞福岡県審査
最優秀賞
- ・第23回バイオ甲子園2014入賞
- ・三学会合同福岡大会ポスター発表
優秀賞
- ・SSH生殖研究発表大会
奨励賞

〈ESS〉

- ・第13回県高校英語デイベート大会
3位

〈総合部〉

- ・第69回国体馬術競技 7位
- ・紀の国わかやま国体リハーサル大会
第10競技ダービー競技 3位
- ・第29回県高校総合文化祭
合唱部門・ピアノ独奏 各々優秀賞
- ・第16回シヨパンコンクールinASIA
福岡地区大会 金賞
- ・平成27年度県高校総体(空手)
男子個人 形 3位
- ・第64回全九州高校大会県予選会(空手)
男子個人 形 3位

〈バスケットボール部〉

- ・平成26年度新人大会
男子県大会ベスト8
- 女子県大会出場

〈バレーボール部〉

- ・平成27年度全国高校総体県予選会
男子・女子共に出場
- ・平成27年度天皇杯・皇后杯
福岡県ラウンド
女子・男子共にベスト8

〈野球部〉

- ・第97回全国高校野球選手権福岡大会
ベスト8

〈ボート部〉

- ・第26回全国高校選抜大会

女子舵手付クオドルプル 出場

JOCジュニアカップ

第13回全日本ジュニア選手権大会 32位

第69回国体

女子舵付クオドルプル ベスト16

女子ダブルスカル 出場

第62回九州朝日レガッタ

男子舵付クオドルプル 1位

男子ダブルスカル 2位

女子ダブルスカル 2位

女子シングルスカル 1位

平成27年度全九州大会県予選会

男子舵付クオドルプル・ダブルスカル・シングルスカル 各々1位

女子舵付クオドルプル・ダブルスカル 各々1位

平成27年度全九州大会

女子舵手付クオドルプル 3位

平成27年度国体九州ブロック大会
高校総体
少年少女シングルスカル 2位

(国体出場決定)

平成27年度全国高校総体

男子ダブルスカル・舵手付クオドルプル・女子舵手付クオドルプル 準々決勝進出

女子シングルスカル 7位

第36回県新人選手権大会

女子100㊦・200㊦・4×100㊦R
各々優勝

女子走幅跳 4位

男子走幅跳 16位

女子やり投 20位

平成26年度全九州高校体育大会新人大会

女子100㊦ 3位

第69回国民体育大会

女子400㊦ 出場

第8回日本ユース選手権大会

女子400㊦ 5位

第99回日本陸上競技選手権大会

女子400㊦ 出場

第68回全国高校対校選手権北九州地区予選会

女子200㊦・400㊦ 優勝

100㊦・200㊦ 出場

4×100㊦R 7位・走幅跳 12位

第68回全国高校対校選手権県予選会

女子100㊦・200㊦・400㊦ 各々優勝

4×100㊦R 3位・走幅跳 2位

やり投 出場

男子200㊦・400㊦・800㊦・400㊦H・走幅跳 各々出場

第69回福岡県選手権

4×100㊦R 6位・三段跳 5位

第68回全国高校陸上競技対校選手権大会

女子400㊦ 7位

200㊦出場

平成27年度国体最終選考会

男子A 800㊦ 出場

B 400㊦ 3位

女子A 100㊦ 8位

B 400㊦ 出場

A 400㊦ 出場

B 走幅跳 7位

〈水泳部〉

- ・県高校選手権新人大会
男子200㊦R・100㊦・200㊦ 自由形
100㊦・200㊦ 平泳ぎ 各々出場
- 女子200㊦R・200㊦メドレーR
50㊦平泳ぎ・50㊦・100㊦自由形
50㊦・100㊦ バタフライ・50㊦
背泳ぎ 各々出場

〈山岳部〉

- ・平成26年度国体第35回九州ブロック大会
少年少女ボルダリング 2位
- ・2014スポーツフェスタふくおか
クライミング大会
男子リード 2位・3位
女子リード 1位・2位・3位

〈ラグビー部〉

- ・第137回全九州新人大会県予選会
2位
- ・第37回全九州新人大会 4位

第16回全国選抜大会
出場 1勝1敗1分け

平成27年度県高校大会
ベスト8

〈バドミントン部〉

- ・平成27年度県高校総体県大会
男子団体・女子団体
各々ベスト16

〈剣道部〉

- ・平成27年度県高校総体県大会
男子団体ベスト8
女子個人出場
- ・玉竜旗大会
男子・女子出場

〈柔道部〉

- ・平成26年度県高校新人大会県大会
男子団体出場
- 男子個人 81kg ベスト8
- ・平成26年度県高校選手権大会県大会
男子個人 81kg ベスト8
- 男子個人 90kg 出場
- ・第47回九州ジュニア体重別大会(九州大会)
男子個人81kg 出場
- ・平成27年度県高校総体県大会
男子団体出場
- 男子個人 81kg 4位
- 男子個人 90kg ベスト8
- 男子団体出場

〈相撲部〉

- ・平成26年度県高校新人大会
80kg未満 4位

〈卓球部〉

- ・平成27年度県高校総体県大会
男子団体 5位
- ・全国高校総体県予選会
男子シングルス 出場
- ・第70回国体県予選会
男子 出場

平成26年度 国内エンジニア研修

「思い」を直に感じて

平成26年12月10日から13日の3泊4日の日程で、平成26年度国内エンジニア研修（SSHプログラム）が実施され、115期20名が参加しました。今年度は、京都大学工学部（桂キャンパス）、同教育学部（吉田キャンパス）、世界遺産東寺、三菱ケミカルフォルディングス、NEC、日本科学未来館、東京大学工学部（本郷キャンパス）といった、大学・研究施設・企業・寺院と多種多様な場所での研修を実施しました。

今回のこの研修では、準備段階から数多くの方々に関わっていただきました。各方面への依頼では、京都大学・東京大学をキャリア教育部の田代・辻本（90期）両先生が、関東・東京東筑会を東筑会事務局長の小川（77期）先生が担当してくださいました。今年度は新たに、日本科学未来館の研究室での講義・研修と、東京大学の学生団体である学生団体のフェアウィンドによる生徒たちとのグループワークと講義が加わることで、これまで以上に充実したものになったと思います。例年同様、大学・研究室・企業の多くで本校卒業生が深く関わって下さり、これだけの研修が実現するには、東筑の卒業生のお力が必要だと到底実現不可能でした。この場をお借りして再度御礼を申し上げます。

初日の、京都大学工学部では、都市環境工学の米田稔教授をはじめ各実験室の方々の熱心な講義や説明をいただきました。その際、同大学院の野口恭平さん（106期）が、全体のアレンジだけでなく、講義・実験の場についてくださるとともに、風洞実験室では実験の解説もしてください、昼食時には大学生・院生（留学生も含む）と一緒に昼食しながら話す機会も設けてくださいました。次の研修先である同大学教育学部では松下佳代教授（77期）が、京大博物館の見学を手配してください、見学後松下先生の案内で吉田キャンパスの施設を拝見し、そのあと講義をしてくださいました。

東京では、三菱ケミカル（MCF）の江口幸治（80期）・森貴司（84期）さんが東京駅までお迎えをしてくださりました。会社に移動後、MFCの概要をプレゼンテーションしてください、先端企業の取り組みについて説明をいただきました。また、もう一つの訪問企業NECでは億谷和彦（74期）さんのアレンジで見学が実現し、ここでも先端技術の粋を見せていただきました。億谷さんにはNECでの研修後、日本科学未来館まで生徒たちに帯同していただきました。最終日の東京大学の講義や実験・実習は前述した学生団体のフェアウィンドが企画してくれて、生徒たちは安心したようでした。

ここでは、工学研究科の関村直人教授の講義があり、その後電子顕微鏡を実際に操作するなどの実験・演習があり、生徒たちは初めて触れる実験機器に興奮していました。

そして、何より懇親会では関西・東京両東筑会の先輩方が多数集まってくださった心からの歓待を受け、母校の絆の深さを目の当たりにしました。東筑に対する「思い」、後輩に対する「思い」、そして若い世代を育もうとする「思い」を直に感じた時間でした。生徒たちは、先輩の方々が各界で活躍され、親しくお話をしてくださいましたことに対しての感動を口々に述べていました。各研修場所での内容を十分学んだとともに、先輩たちの「思い」を十分受け止めた、実りある研修となったと思います。

（文責 引率者ー本校教諭 井上孝志）



第25回 定期野球大会

対戦成績五分に

野球部副部長 吉野寿澄

6月3日に第25回定期野球大会が北九州市民球場にて実施されました。前日からの悪天候で延期の可能性もありました。しかし、午後からは好天に恵まれ1時間遅れになりましたが、実施することができました。

この年までの対戦成績は11勝12敗1分と負け越していたため、必勝を期して臨んだ試合は両校一歩も譲らず手に汗握る接戦となりました。

先行の東筑は初回先頭の足立がライト前ヒットで出塁するも後続が倒れ得点できませんでした。裏の小倉の攻撃、東筑は成長著しい2年生左腕の梅田を先発にし、強打を誇る小倉打線と対峙しました。梅田は先頭に2塁打を浴びるものの後続を落ち着いて打ち取り、両校無得点で初回の攻防を終えました。続く2回表の東筑は期待の1年生コンビである水上、安部の連打で1点を先制しました。東筑はその後も5回に高井のライトフェンス直撃の3塁打で1点、6回には梅田のタイムリーと相手バッテリーのエラーで2点を追加し、優位に試合を進めていきました。先発の梅田は7回途中に降板するまで、丁寧なピッチングで小倉打線を2点に封じ込めました。そして、梅田のあとを受けたエース藤井は気迫のこもった投球で8回の2死満塁のピンチを凌ぐなど、無失点で締めくくり、両校死力を尽くした一戦は東筑が4-2で勝利を収めることができました。

この勝利で対戦成績を12勝12敗1分と五分に戻すことができました。来年も勝利し、勝ち越したいと思っています。試合中、応援部を中心とした全校生徒や同窓生の方々の応援は心強く、選手に大きな力を与えてくれたと感じています。誠にありがとうございました。



全国選抜大会に出場

ラグビー部監督 畑井雅明

3月30日から埼玉県熊谷市にて開催された第16回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会への出場に際し、東筑会の皆様方から物心両面に渡り多大なるご支援をいただいたことに対し、改めて深く御礼申し上げます。

昨年12月から始まった高校ラグビー1新人戦福岡県予選の準々決勝において、先の全国大会福岡県予選で準優勝を果たした修猷館高校と引き分けたこと（大会規定により抽選で次戦への進出権が決定）が全ての始まりであったように思われます。抽選の際、原口主将が相手への敬意を失うことなく静かに次戦への進出権を勝ち取った後は、準決勝でベスト4常連の福岡高校を68対7で破り、決勝では東福岡高校に敗れはしたものの14年ぶりに九州大会の出場権を獲得することができました。その勢いを保ったまま2月に宮崎で行われた九州大会では、1回戦で沖繩県1位のコザ高校に50対15で2回戦で熊本県1位の荒尾高校に42対19で勝利したことによりベスト4以上が確定したため、九州ブロック代表として15年ぶりに全国大会の出場権を獲得することができました。

全国選抜大会では、開会式直後のオープンゲームで地元深谷高校と対戦するという唯一の機会をいただきました。久しぶりの全国という舞台に加え完全にアウェイという状況であったため選手たちはいつも以上に緊張してしまうであろうと予想していましたが、東筑タオルを首から提げた大勢の東筑会の方々の大歓声を背中に受けたおかげで、選手達は全国の舞台で大いに躍動してくれました。結果は惜しくも14対14の引き分けに終わってしまいました。2試合目とない経験させていただきました。2試合目の東海大仰星高校（今大会の優勝校）との対戦では、全国常連校との格の違いをまざまざと見せつけられ、3試合目のチャレンジ枠で出場した石巻工業高校との対戦では、終始東筑ペーシングで試合を展開することができ、応援にきていただいた東筑関係者の方々に感動していただけた試合をすることができました。

今回の埼玉までの道程では、多くの場面で東筑関係者のみならず東筑高校を応援して下さる方々からお声を掛けていただき、改めて東筑高校の歴史と伝統ならびに奥深さを肌で感じる事ができました。今回のこの貴重な経験を最大限に活かし、今年こそは4度目の花園出場を成し遂げたいと思います。引き続きご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。



第2回「ようこそ先輩講演会」開催

84期事務局長 松尾康徳

今年度の東筑会総会・懇親会を午後控えた6月6日の午前、東筑高校では現役生向けキャリア教育プログラム「ようこそ先輩」が行われました。東筑OBがそれぞれの仕事の世界を紹介し、現役生の将来の選択に生かしてもらおうという取り組みで、初めて行われた昨年に続き今年2回目の開催です。

講師役として集まったのは、前当番期の84期を中心に88期までの計13人。業種がそれぞれ異なる講義13本の中から、1〜2年生がそれぞれ希望の講義を選んで聴講するという仕組みです。

業種が重ならないように期の間で調整しながら講師役を決めたのが4月初め。それから講師同士で当日に備えた情報交換が始まりました。

「どういった話すればいいやるか？」

「みんなパワー使うと？」

「オレ、高校に下見に行ってる」

などなど。みんな40代半ばの働き盛りで忙しいはずにもかかわらず、たった50分の講義のために真剣に準備しようとします。依頼した身としては「そこまでしなくても」と心苦しくなりましたが、いざ自分も講師の一人として準備し始めると、気がつけば仕事同様のパワーを準備にかけていたような気がします。

そして当日、それぞれの講師は担当の先生の誘導で教室へ。生徒代表が前ふりをやっていただき、それを受けて講義を始めました。講師に立った印象としては、生徒はとにかく真面目。ボケを入れるのも躊躇するぐらいで、真剣に準備してきた甲斐がありました。講義後の質疑応答では、女子生徒から「出産や育児との両立は可能ですか？」など、踏み込んだ質問が出た教室もあつたようです。

終了後は全講師が一つの会場に集まり、生徒とパネルディスカッション形式での質疑応答。「自分はまた何になりたいか決めてない。今の仕事を選んだきっかけを教えてください」という質問も出るなど、生徒が将来を具体的に考え始めるきっかけになったようです。準備に時間をかけて講義に挑んだ甲斐があったことを実感し、午後はそのまま東筑会懇親会の会場へ向かいました。



ようこそ先輩

各地区東筑会だより

東京東筑会

今年度は、3月30日〜4月7日に埼玉・熊谷ラグビー場で開催された「第16回全国高校選抜ラグビー大会」の応援団から始まり、「就活生のためのマスコミ東筑会」、そして例年通り開催した新人歓迎バーベキュー大会（写真）で、東京東筑会の活動が始まりました。

年々、年度初めからの活動が活発になって来ていますが、

1. 全国高校選抜ラグビー大会では、会員のご好意により本校に百万円の寄付
2. 就活生のためのマスコミ東筑会参加者が、見事に関連企業に内定
3. 新人歓迎バーベキュー大会では、関東地区の大学に今年進学した40名の新生の内、16名が参加など、具体的な成果が現れています。

今年の当番期（85期）は、立ち上がり早く、代表幹事、実行委員長、事務局長を先頭に何事にも積極的で、会の活動活性化に貢献しています。

今年の東京東筑会懇親会は、11月7日にホテルニューオータニで開催予定です。東筑卒業生であれば、参加出来ます（卒業生でない奥様がご一緒される場合もあります）。

東京地区で北九州地区を中心とした高校OB会の集まりである「謝志会」で一緒にする他校OB会の中には、東筑の懇親会を参考にされる方がいらつしやいます。また、近年、小倉高校との間でライバル関係の位置づけが一層明確化しており、OB間



新人歓迎バーベキュー大会最後の校歌斉唱

でも会えばその話題で持ちきりです。しかし、一方では、福岡市の修猷館、福岡、筑紫丘の生徒数は減らないのに、東筑など北九州市の高校は定員が減少傾向だそうので、ライバルの2校を中心に、なお一層、切磋琢磨して行こうと話をしている次第です。

事務局長 億谷和彦（74期）記

上総東筑会

第25回上総東筑会総会・懇親会は、3月6日（金）に東京東筑会 大井恭二副会長（62期）ならびに萩原有二氏（85期、当番期）を来賓としてお迎えし、参加者22名で千葉県君津市のホテル千成で開催致しました。



50期から102期まで幅広い参加者

千葉県の上総地区(君津、木更津、富津、袖ヶ浦)ならびに千葉市在住の50期(S27年卒)から102期(H16年卒)と幅広い年代の方に参加頂いております。

総会では、松永久義会長(68期)の挨拶、大井副会長の来賓挨拶の後、審議事項である会計報告、予算案の審議、承認を行いました。

その後、開催された懇親会では、初参加の方の自己紹介や近況報告、当番期からの東筑会総会、東京東筑会総会の紹介を行いながら、当時の話に花が咲きました。年代が違っていても同じ地域で暮らしたり、同じ部活に所属していると、相通じるところがあるようです。また、当日配布した参加

されなかった方の近況報告も話のきっかけになりました。

最後に現役時代の学生服に着替えた応援団出身の今村尚近さん(84期)のリードで校歌斉唱、エールを行い、会を締めくくりました。

参加頂いた方、近況をご連絡頂いた皆様どうもありがとうございました。上総地区ならびに千葉県在住のOB、OGの方、是非来年の上総東筑会にご参加下さい。

事務局 平山 隆(86期) 記

東海東筑会

平成26年から平成27年にかけての活動報告をいたします。

昨年11月30日第16回テク会は国宝犬山城と紅葉の名所「寂光院」町の散策を楽しみました。

平成27年度第29回東海東筑会総会を4月19日(日)「ホテル・ルブラ王山」にて開催いたしました。今回本部よりのご出席がかなわず残念に思っています。しかし85期の服部悦子氏の努力により当番期会長 泉裕司氏、事務局長 大森智己氏、東京東筑会事務局長 徳谷和彦氏、萩原有二氏・中条一夫氏、関西東筑会 竹下宏樹氏のご参加を頂き会を盛り上げて頂きました。

また、85期の佐伯太一氏・有吉規和氏・97期の上田絃子氏(お子様同伴：写真参考)参加で華やかな会となり、グッズ販売・ビンゴゲーム・写真撮影・校歌斉唱(徳谷氏・萩原氏・服部氏・中条氏による管楽器演奏つき)で最高潮の盛り上がりで幕を閉じ再会を期し散会いたしました。

東海東筑会では若い会員の入会を促進し



4月19日ホテル・ルブラ王山にて

継続できる体制をいたしたく本部のご支援のほどお願い致します。

東筑会の発展と野球部甲子園へを祈念します。

事務局 木村陸彦(56期) 記

関西東筑会

5月30日(土)、新大阪の大阪ガーデンパレスで、平成27年度関西東筑会総会・懇親会が開催されました。出席者数は192名と史上最大規模となりました。今年には役員改選の年でしたが、常任幹事一名の交代を除き、荒金会長(63期)以下、昨年度と同じ体制が承認されました。

総会後の懇親会では、荒金会長の挨拶に続き、本校の花岡俊彦校長、小野晃東筑会特別顧問(51期)、赤松啓子東京東筑会副会長(70期)、泉裕司本校当番期会長(85期)よりそれぞれご挨拶を頂いた後、橋本磯先輩(52期)の乾杯ご発声で開宴しました。

今年も16名の大学生が参加し、初々しく華やかな雰囲気の中、全員が自己紹介と将来の夢や就きたい職業について話してくれました。お楽しみコーナーの「クイズ東筑なう」では、現役ラグビー部、野球部、応援部の皆さんや生徒会長に、映像で今の東筑高校の様子を伝えてもらいました。普段目にするのではない現在の東筑高校の様子に、出席者の皆さんも興味津々でした。

続いて、富永副会長(66期)に東筑高校校歌の歌詞について解説いただいた後、全員が大きな輪になり、関西東筑会恒例、3番までの校歌を歌い切りました。締めくくりに、馬場喜代司先輩(61期)と富永副会長の力のこもったエールでした。その後、来年度当番期の83期への引き継ぎの「法被渡し」を行い、最後は鶴崎副会長(72期)の締め挨拶で閉会となりました。

本年度当番期の82期は関西の16人に加え、全国各地から同期が駆けつけてくれ(総勢72人)、東筑高校の強い絆を実感しました。また、諸先輩方からの温かいご指導・



広島東筑会

我が広島東筑会には少々特殊な事情があります。それは会員の中に東筑高校出身の広島東洋カープの選手が3名いることです。高信二選手は現在二軍監督で一軍の戦力強化に重要な役割を演じていることは皆様、ご承知のことと思います。井生崇光選手は



恒例3番までの校歌斉唱

ご協力と、後輩たちの多くの参加をいただき、何とか無事に懇親会を終えることができました。本当にありがとうございます。

懸橋理枝(82期)記

一昨年現役を離れ、これもチームにとって重要な「スコアラー」を務めています。捕手だった山本翔選手は数年前に退団しました。しかし、この3選手は毎年、広島東筑会に参加してくれています。参加してくれる多くの女性会員の中には彼らのファンも少なくありません。

会の終わりに、恒例により東筑高校校歌とカープ応援歌「それいけカープ」を皆で合唱しています。

上記のような理由で広島東筑会はカープ選手が参加出来ることを条件に毎年、「成人の日」またはその振替休日に開催してまいりました。ところが、高選手が二軍監督になった関係で次回第30回広島東筑会は今年の11月28日(土)開催となりました。本年は1月16日にすでに開催しましたので異例の年間2回の開催になります。

もう一つ、我が会には特徴があります。会員の柳原郁子さん、田代直子さんご姉妹はピアノとヴァイオリンのプロ演奏家です。彼女らの演奏とアマチュア演奏家との共演も当会の目玉プログラムの一つです。

上記のような事情で10月に発行される東筑会報には次回の広島東筑会の報告が出来ません。

来年度会報で報告しますのでよろしくご了承ください。

広島東筑会会長 高橋昭八郎(50期)記



ふくおか東筑会

平成27年「ふくおか東筑会の総会並びに懇親会」は5月23日(土)17時から福岡国際ホール(福岡市中央区天神)で、来賓に高山東筑会会長、本校の花岡校長と香野副校長を迎えて開催され、130名余りが集いました。

総会では活動報告、会計報告が承認され花岡校長から本校の現状報告がありました。続いて、恒例の卒業生による卓話は本年は福岡市特任部長として活躍中の袴着賢治氏(93期卒業)による福岡市の特区の取り組みの現状と未来についての内容で、話題に富んだ講演となりました。

昨年新調された「ふくおか東筑会の会旗」がステージ上に掲げられました懇親会では、本年の本校同窓会の当番期である85期の皆さんが泉会長はじめ多数出席をされまして出席者の盛大なエールを受けました。



福岡市の冷泉公園に植樹した染井吉野

今年も「ふくおか東筑会の総会並びに懇親会」は大いに盛り上がり終了しました。

ここでお知らせですが、「ふくおか東筑会」のシンボルとしまして、博多の総鎮守であります櫛田神社に隣接します冷泉公園の一角に福岡市の協力を得まして、今春、染井吉野を植樹しました。

これから毎春の花見の時期には是非冷泉公園にお立ち寄りいただきまして、満開の「東筑桜」を愛でていただきたいと思います。

富増春樹(85期)記

芦屋東筑会

会員の皆様、芦屋東筑会会長を務めさせていたただいております62期の徳田徹と申します。

さて、第38回芦屋東筑会総会・懇親会を、平成26年10月18日(土)に「マリントラスあしや」で開催いたしました。当日は、東筑高校をはじめ本校同窓会「東筑会」・近隣七つの地区東筑会より来賓のご臨席を賜り、会員と合わせ70名の出席者で会場は一杯となりました。

第一部の総会は、はじめに物故者に黙祷を捧げ、来賓の紹介・祝辞、議案の承認と恙無く終了しました。

第二部の懇親会では、校歌を元氣良く斉唱し、乾杯後の歓談では皆様1年ぶりに旧友と再会し、思い出話に花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。また、恒例のお楽しみ抽選会では抽選のたびに歓声が起こるなど、賑やかで楽しいひと時を過ごすことができました。

開催に際して若い会員や2015年本校



名称変更して2年目です。

たと一同よろこんだ次第です。
会の名称はいまだに読み間違いが多いので、漢字の洞海を表示せず「北九州くきのうみ東筑会」と平仮名だけを常用することにしました。

とはいえ、北九州市内には新会名もまだまだ普及していないのが現状で、総会後に知ったとかPR不足とかのご指摘もありました。過去の出席者をデータとする名簿を作ってはありますが、市内在住の同窓生住所氏名を把握するのは至難のことです。
現在、役員一同時間をかけてかなりの頻度で会を重ね、試行錯誤もあります。

り良い新組織を造る努力を続けております。今後、市内在住の同窓生のアイデアやご協力を頂き、組織再編を進め、おりお東筑会を脱皮し、変身したいと思えます。
本年の総会は新生第2回ですが、通算25回目総会となります。

日時：平成27年10月17日(土) 17時
会場：北九州ハイツ
を予定しております。

本年は第25回アニーバーサリーということもあり、恩師である音楽の原田照美先生をお招きしております。「照美ちゃん」のむかし通りの声と元気なお姿に出会えます。恒例の「くじ引き」もあります。楽しい語らいの時を用意できるように努力を重ねます。お友達にもお声掛け下さいまして、より多くの同窓生のご参加を心より願っております。

会長 藤崎英徳(53期)記

水巻東筑会

第14回平成27年度水巻東筑会総会・懇親会は、去る5月16日(土)に水巻商工会館で開催しました。母校および東筑会、近隣東筑会の来賓、東筑会総会の当番期の方々のご臨席を賜り、会員と合わせ60名の出席者で会場は一杯となりました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、並びに今年度の事業報告案、収支予算案が提案どおりに承認されました。

懇親会では、学年時代を懐かしんで思い出話を花を咲かせ、どのテーブルも大変賑わっていました。最後に校歌を声高らかに斉唱し名残惜しい中、閉会しました。

次回もまた、皆様の元気な姿にお会い



来年も元気で

きることを楽しみに、もつと多くの同窓生に参加してもらえよう会の運営・発展に努めてまいります。

事務局長 友廣大祐(90期)記

宗像東筑会

平成27年度の宗像東筑会総会・懇親会を4月12日(日)に例年通り玄海ロイヤルホテルにて開催しました。

当日は日曜日にもかかわらず、東筑会及び東筑高校、近隣地区東筑会の多数の来賓、東筑会総会の当番期(85期)の方々のご臨席を賜り、盛会裏に無事終了することが出来ました。

前年度の事業報告、収支決算報告、監査報告、新役員、並びに今年度の事業報告案、



校歌斉唱、宗像・福津の皆さんご出席を

収支予算案が提案どおりに承認されました。引き続き行われた恒例の講演では、公認会計士の武藤 淳氏(85期)より「中国経済に巻き込まれた私」と題して、ご自身が中国での滞在中に体験されたことを、事例を交えながら丁寧にお話いただきました。

また、懇親会では初めて参加された方にお話していただいたり、校歌を歌ったりして終始和やかな雰囲気で行うことが出来ました。

さて、宗像東筑会の活動としては毎年恒例の「宗像環境フェスタ」のリサイクルマーケットに出店しております。東筑高校の職を掲げて地域活動に積極的に参加しております。ぜひ一度参加してみませんか。

最後に、この会報をごらんになった宗像・福津にお住まいの東筑高校卒業のみなさん、年一回の総会・懇親会には是非ご出席いただき、よき時代を思い出そうではありませんか。

ご協力宜しく願っています。
事務局長 門司 剛 (63期) 記

ひのくに東筑会

第11回平成27年度ひのくに東筑会を5月

17日(日)にJR熊本駅横のホテルニューオータニ熊本で開催しました。来賓として石川教頭、上杉事務長、東筑会の原田副幹事長、熊本大学医学部同窓会末吉北九州支部長(69期)、さらに当番期の85期から4名の方々にご来熊いただき、参加総数は26名でした。総会では役員の改選があり、中松会長(54期)が勇退され、大庭(59期)が新会長に選出されました。中松前会長は出席者を増やすために会員を戸別訪問されるなど会の発展のために大変尽力されました。今回から会員によるミニ講演会を行うこととなり第1回目として熊本ホームケアクリニックの井田栄一院長(72期)により「家に帰りたい!思いを支える在宅医療」と題して講演いただきました。何処で自分らしく過ごすのか、尊厳ある生活の継続とは、など超高齢化の今、大変貴重なお話を聞くことができました。

懇親会は前年に続いて熊本朝日放送の柴田理美アナ(107期)の名司会のもと和やかに進行しました。石川教頭からは母校の現状をお話いただきましたが、卒業生・在校生の文武両道にわたる優秀さに先輩面をするのが申し訳ない思いがする一方、誇

らしさも感じました。中山絹子様(50期)の乾杯発声で宴が始まり、毎回招待している熊大の現役学生3名の自己紹介がありました。おなじみのお話し振りにはいつも感心させられています。今回、熊本県外にお住まいの同窓の方々3名にもご参加いただきました。ひのくに東筑会は毎年5月の中旬(下旬)に開催しております。熊本県に在住の方々には勿論、熊本に縁ある方々もご参加いただき、より多くの同窓生で楽しい時間を共有できればと心から願っております。

会長 大庭英樹(59期) 記



「ひのくに東筑会」第11回総会 於 ホテルニューオータニ熊本 平成27年5月17日(日)

北海道東筑会

5月9日(土)、札幌駅近くのサントリーズガーデン昊(そら)にて北海道東筑会総会・懇親会を開催いたしました。

来賓として福岡から当番期85期の泉裕司会長のご臨席を賜り、道内各地から会員12名が集い、久しぶりに会う喜び、初参加の会員を迎える喜びとともになごやかな雰囲気です。総会が始まりました。沖津行廣会長(54期)の進行により、昨年度の事業報告、決算報告、本年度の事業計画、予算案などが承認されました。続いての懇親会では皆様の近況報告を兼ねた自己紹介。当番期の泉裕司会長には前日の福岡での東筑会ゴルフコンペに引き続き、当日は朝7時の飛行機で札幌へというハードスケジュールの中で本当にお疲れ様でございましたが、お蔭様で他地域の東筑会の様子や母校の様子、折尾駅周辺が再開発事業で様変わりしている様子などを伺うことができました。北九州から離れて年月が経ち、昔の思い出の風景しか思い浮かばない私たちにとって、現在の様子を知ることが嬉しい機会でした。また、お持ちいただいた当番期作成のエコバッグなどの記念グッズも大変好評で皆さんに購入していただきました。「九州から速く離れたこの北海道でまさか東筑の同窓会として集まれるとは思っていませんでした」と皆さん、この集まりをとて楽しんで下さっているようです。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は全員起立して元応援団の85期鈴木敦志氏のリードにより校歌斉唱とエールを切り、盛会のおちに終了いたしました。

北海道に住んでもまだ参加したことのない方、是非、思い切ってお参加下さい。



思いきっての参加をお待ちしています。

また、北海道在住でない方も5月の総会、8月のビール会、12月の忘年会の頃に出張や旅行でいらつしやることがあれば是非ご参加下さいませ。北の地でお会いしましょう。

村上さやか(青山) (81期) 記



各 期 だ よ り

39期だより

「人が人を殺す勿れ」 39期 92才は生きている

大正11・12年生れの旧制大学1年の文系の我等は昭和18年学徒出陣をし陸海の特攻や沖繩決戦で戦死。昭和10年250人入学。卒業228人。残り22人は、4年生修了で陸士、海兵、大学予科、病氣。

現在明確ではないが10〜20人病と闘いながら生きているのであろうか？わが期は80才今寿迄は全学年での総会を実施していた。その後、元氣な者が自由に談話する39ネットミーティングをするようになった。毎月第二水曜日に黒崎井筒屋七階貸切レストランで、当初は数十名で賑やかであったが何時の間にか10名、次々に死に今では6名。話の内容は、健康、国内外の情勢、東筑の頃の、軍隊のい

ろ、遭ったその日が生前葬の気持で大事にしている。
さて、タイトルの「人が人を殺すこと勿れ」について、人は生きていく為には、牛や豚や魚や野菜、果物の命を殺し食べ

ていますね。人類も自分の種族、近親が生きていくためには数万年戦い続け、第一次、第二次世界大戦、20世紀迄、数千万人の死者負傷を作りましたね。戦えば双方に犠牲が出る。1945年、二次大戦後、戦争はもういやだと世界の人々には、思っただけ、どうして、



意気軒昂

ロシアのアフガニスタン侵攻。アメリカのベトナム侵攻、イラク戦、朝鮮戦争。中国のネパール侵攻。北部アフリカのアラブの春(チュニジア・リビア・エジプト・イエメン)等イラクでのシリア派とスンニ派との戦い。シリアの国内戦、無法のイスラム国。イスラム人同志の殺しあい。かつては毛沢東の共産軍と蒋介石の国府軍、中国人同志の殺しあいをした。人間が人間を殺す連綿の事実が今この時間にも続けられている。残念で残念でたまらない。

さらにイギリスの産業革命によって、人類は大変物質的には幸せになって来たが、その製作過程において石炭、石油、天然ガス等、化石燃料等を大量に使用して、地球温暖化、二酸化炭素の大量排出をして人によって人が増々住みにくくなることをしている。その最大の原因はアメリカや中国などの産業過程にある。京都議定書等、糞喰たてしやう。さらにPM2.5に黄砂と人間が人間の手によって地球を汚し殺しているのですね。全世界の人が静かに瞑想して、どんな理由があろうとも、「人が人を殺さない」ということだけは断乎守り通して行くことを。国連は何の力もない。即、廃止。日本が世界200の国の平和のリーダーとなり、その人材を東筑健児から養成していることではありませんか！余命いくばくもない39期の先輩が訴える。

(幹事 刀根博愛 記)

49期だより

東筑高校49期生恒例の同期会は菊薫る11月13日(木)に、北九州市八幡西区黒崎のホテルクラウンパレスで45名の参加者で開催しました。同期会も年々高齢化が進んで参加者が減少し一寸寂しい感じがしますが、もう暫くは継続して行きたいと思っ



東筑49期 同期会 平成26年11月13日

す。会は最初に永田会長の開会の挨拶で始まり、続いて岡部事務局からの近況の報告の後、物故者に全員で黙祷を奉げ御冥福を祈った後、いよいよ宴会に移りました。美味しい料理に舌鼓をうちながら、杯を重ねるにつれ賑やかな雰囲気でも大いに盛り上がったところで、今回余興として用意されたマジックショーが始まりました。演技をされる魔術師は、この道40年のベテランで、いろんな所に出張してマジックを披露されているだけあって素晴らしい道具を駆使した魔術に会場を大いに楽しませて戴きました。続いてバンド演奏によって懐かしい数々の曲がメロディーで流れ若かりし頃の気分が浸りました。ラストは自慢の喉によるカラオケで締めくくり、予定時間を少々オーバーして宴会を終りました。最後に49期生の今後の御多幸と御健勝、

併せて東筑高校の発展を祈念して万歳三唱で同期会を無事に終了し、来年の再会を約束して散会しました。
(三村輝雄 記)

50期だより

6年繰り上げ、米寿を祝う

私達50期の有志33人は、平成27年5月9日正午、北九州市八幡西区黒崎の料亭「古仙」に集まり、6年繰り上げて、米寿を祝う昼食会を開いた。

乾杯の音頭は、大阪府吹田市からはるる参加された岩崎光隆君に、また終宴のさい、50期よ、永遠なれ、の万歳発声は、広島在住の松尾秀雄君にそれぞれ、お願いした。

今回の集まりは平成25年10月の祝傘寿別府旅行以来だったので、フルコースの日本料理と楽しいおしゃべりで、忘れられない同期会になった。



「古仙」で開いた50期の6年繰り上げ「米寿」屋食会

実は別府旅行の後、1年しかたためぬ内に、男子3人が天国に旅立った。「諸行無常」「われや先、人や先」。米寿まであと6年も待てない、という危機感から、6年繰り上げの同期会を思いついた次第だ。

誠に残念ながら、これには、かなりの友人から強い反対があったことも、事実である。

私達50期は昭和8年生れ。満82歳の年齢を考えると、「古仙」での昼食会は、昭和27年3月の卒業から今日まで続けたきた活動に終止符をうつ「千秋楽」になった、と思っている。

今後は、グループごとに会食や小旅行に出掛けながら、お互いの健康を確かめたい。

合言葉は「友情に感謝」である。

(福岡支部 高崎剛夫 記)

51期だより

傘寿のクラス会in京都

前回に傘寿のクラス会は京都へと決めたその日が来た。10月28日九州組はのぞみ16号で小倉を出発。今年も会えて良かったね。といつもの三年四組のおしゃべりが始まる。そしてあつという間に東寺の五重塔が見え、京都に着いた実感が湧いてくる。駅前のホテル京阪京都で東京組とおち合う。添田幹爾さんが京都の名所を冊子にして下さっていた。それを頼りに明日はまず二条城からと決定した。ほっとする暇もなく今日のスケジュールの琵琶湖へと急ぐ。出航のドラが鳴り響くなかを急いで乗船する。デッキに立つと湖面を渡る風は少し強いがこちよ良かった。古い伝えの竹生島を探したが遠く他の島陰で見えなかった。周遊の終り



傘寿 in 京都

に、あの琵琶湖周航の歌が流れてきて、数人で4番まで合唱した。懐かしさがこみあげる船中で飲んだコーヒは至福の一杯だった。ホテルで一服して京都駅ビルに詳しい武藤豊さんの案内で夕食をとる。その時に添田さんから校歌の作詞者についての論議が本校であったその顛末の説明があったりして思い出話が楽しくはずんだ。

2日目は京都観光タクシーで二条城を訪ね嵯峨野の竹林へ。ここは観光客が多く車の乗り入れは遠慮しているとのことであったが、我々の様子を見て車で入って下さった。心の中で「ごめんさい」と頭を下げながら観光客を掻き分ける様を通り、天龍寺、祇王寺と静寂を堪能し、正伝寺、曼殊院などタクシーの運転手さんと相談しながらゆつくりと7時間の遊覧でした。この日も駅ビルで夕食を済ませて12階のバーに案内してもらった。「バーなんて何十年ぶり？」とピアノの演奏を聞きながら、タワーの光の中でグラス片手に京の夜をゆつくりと楽しんだ。

さて3日目。私事の大事な仕事を一日勘違いをしていた為に、早朝に京都を発った。

(ここからは小山富士男さんからの報告です) 丁度30日から一般公開された京都御所へ。修学旅行の時に紫宸殿の前で写真を撮った記憶などを思い起こしながら、ゆつくりと歩き東本願寺へ、世界最大級の木造建築の大師堂などを見て、ここが旅の終りとなった。

「また来年」を期待して帰路についた。写真とメモは小山さん提供です。

久しぶり 同期の友との語らいは

心はずんで 昔を思う

志村敏行

もの忘れが烈しくなった昨今です。だからこそ懐かしい人との出会いが嬉しく心がはずむのでしょうか

(阿部道子 記)

58期だより

ゴルフ大会ダブル優勝のおまけ

第32回東筑ゴルフ大会において、団体戦とグラウンドシニア部個人戦においてダブル優勝の榮譽に授かりました。この大会には10年前から東筑同級生の妻と遠征参加(現千葉県在住)しており、過去にニアピン賞・団体2位等相性の良い大会でした。個人優勝はハンディに恵まれたもので満足した内容ではなくラッキーなものでした。団体戦はメンバーに恵まれシングルの岡住・菅の両名が実力を示し勝利したものです。表彰式は東筑会総会の場で催行されるので同期代表者として是非参加して欲しいと、関係者から背中を押され、妻と同伴で参加した次第です。

東筑会総会会場は、1,300を超える同窓の老若男女で溢れんばかりの大盛況、その熱気と活気は圧巻でした。表彰式と挨拶を終え、同期が集うテーブルにトロフィーを持参、仲間と歓喜の祝杯を幾度も交わし歓びを共有しました。今回の参加で何よりも嬉しかったことは、壇上での表彰式で注目を浴びたお蔭で多くの先輩後輩の方々の目に止まり、思わぬ人達に遭遇し旧交を温めることが出来たことです。東筑卒業後は大学・社会人と今日まで関東在住の生活でしたから、実に57年ぶりの総会初参加だったのです。「温故知新・温故知人」を写実的に実感する貴重な体験でした。

120年に至る歴史と伝統の重みをひしひしと痛感しました。そして妻共々東筑卒業生であることに誇りを感じました。

恒例の応援部によるエール、校歌斉唱はいつもジーンと来ます。:

「よきかな東筑、うるわしく 東筑東筑 寛かなれ あ、東筑ー」

声を限りて歌い上げました。東筑万歳！最後に今回お世話になった皆様にご心より御礼申し上げます。

(小川哲朗 記)



団体優勝トロフィーを囲んで

61期だより

第20回「温泉ぷらり旅」

何となく遊びが好きで始めた旅行が、今年で20年の節目を迎える事と成りました。今回の春の旅行は、熊本の本奥座敷「植木温泉」に4月9日、水巻の「竹の子」をホテルの送迎用のバスで10時に出発、鞍手インターより九州道を南下するが、いつものように早速ビールが回って来る。そのうち気分も学生時代に戻り皆好きなようにしゃべくり、気が付けば基山パークキング。休憩をとり、ここで福岡からの参加者2名と合流、今年も初参加者3名を含み総勢19名になりこれより目的地の植木温泉「荒木観光ホテル」に向かう。丁度、お昼時に到着し早速昼食をいただきます、午後より古希を迎えた我々が地域の老人会デビューに顔を出す為にも現在盛んに行われているグランドゴルフなるものを体験してみようと言う事でやってみるが、これが簡単な様でなかなか難しく



花舞小菊一座と記念撮影

ボールが真つすぐに行ってくれない。最初の内は楽にやっていたのですが途中から皆さん真剣になり終ってみればあつという間の2時間でした。温泉で汗を流し夕刻より楽しみにしている宴会が始まり踊りやカラオケで盛りあがる。ホテルよりグランドゴルフの表彰があり賞金、賞品のプレゼントがありました。宴会後、愛知の「花舞小菊一座」の大衆演劇を観て楽しみました。翌日、朝食を済ませホテルを後にして一路柳川へ、途中ダルマックス工場を見学、説明によると九州では1社しか無い布団工場だそうです。生憎、雨の中柳川に到着し昼食は楽しみにしていた鰻のせいろ蒸しをいただきます満足でした。本来なら川下り付きなのですが残念ながら中止になり「お花」の見学に変更でした。おみやげを買い込み高速道を北上し、夕方無事に水巻に到着しました。あつという間の楽しい2日間でした。

(幹事 古賀正博 記)

62期だより

幼馴染の二人展《北九州・京都・横浜》

我々62期生は今年、古希を迎えました。小学校・中学校・高校を同窓で学んだ大の親友の二人は古希を迎えるにあたり、何か記念になることをやろうと考えました。

二人は定年後、趣味の世界で衛藤は淡彩画、岩崎は陶芸を楽しんでおりましたので、これらの作品を持ち寄り、幼馴染の二人展を二人の共通の故郷の北九州と岩崎と衛藤の現在の生活拠点の京都と横浜の3箇所で開催することにしました。

【北九州会場】二人展のスタートに相応しく四月初めの桜の時期に八幡東区の旧百三十銀行ギャラリーで開催しました。62期の同窓生を中心に会場の設営等をサポート頂き、順調な立ち上がりでした。来場者



陶芸(岩崎): 編み丸陶器



淡彩画(衛藤): 春を待つ川崎大師

も5日間で250名にもなりました。半世紀ぶりの同窓生も多く来場しましたが、不思議なもので、5分間も話していると一気に半世紀の時空が埋まり、昔の友の顔でした。

【京都会場】5月終わりの梅雨入り前の新緑が綺麗な京都の中心地・御池にある万華鏡ミュージアムで開催しました。関西東筑会のHP等を通じて、事前に同窓生への告知活動等をして頂いたお陰で、5日間で350名もの来場者がありました。

65期だより

東筑会ゴルフ大会

優勝祝賀コンペ&旅行

平成23年度「第28回東筑会ゴルフ大会」におきまして、当期(65期)は、コンマ2の差で優勝を逃し、準優勝という結果に甘んじることとなりました。

この悔しさを機に、ゴルフメンバーに火がついたの言うまでもありません。

まず同期のゴルフ仲間を発掘して会員を増やし、定期的に同期コンペを開催するなど、優勝に向けて準備は着々と進められてきました。その甲斐あってか、昨年の「第31回東筑会ゴルフ大会」におきまして、見事悲願の団体優勝を飾ることができました。興奮冷めやらぬうちに、早速優勝パレードならぬ「優勝遠征祝賀コンペ」を開催することに、参加者を募ったところ、恩師の植生先生をはじめ、ゴルフをする者、しない者合わせて20余名の参加者がありました。

行き先の長崎を目指して、いざ出発!!
ゴルフ組は祝賀コンペを、観光組はハウ

【横浜会場】6月の終わりに、みなとみらいの馬車道にある大津ギャラリーにて開催しました。ここでも東京東筑会の皆様に会場準備や集客で大変お世話になり、来場者も5日間で190名にもなりました。今回の二人展では二人の作品を皆様にご覧いただく嬉しさに加え、約半世紀ぶりの旧友と再会が何よりも喜びでした。二人は次の喜寿を目指して元気でまた何かをやるよう、精進して行きたいと話合っており、尚、この二人展の詳細は次のHPをご覧ください。近江の閑人帳
<http://www.geocities.jp/ounnokinjinchou/>

(岩崎安男・衛藤福雄 記)

昼食を味わいました。
京都駅まで観光バスを走らせ、1泊2日の短い還暦旅行の名残を惜しんで再会を誓い合いながら解散しました。
(末吉孝 記)

69期だより

北九州と熊本

年齢63歳を迎え現職に励む者あるいは既にリタイアした者あり、高校野球の勝敗に一喜一憂している69期会です。

前回のこの会報で、北九州出身の熊本大学医学部生と懇親会を開いている旨ご披露しましたところ、熊本市の宮川蓋臣様から「ひのくに東筑会」総会にご丁寧なお招きを頂きました。とても有難く嬉しいお話ですので5月17日に参上致しました。

ひのくに東筑会は会員80人を数え、今年で10周年を迎えます。59期の大庭英樹様が新会長となられ、57期の宮川様が事務局をされています。当日26人の参会者には会社経営、名誉教授、医師がお見えになり、107期で地元局アナウンサーをしておいでの柴田理美様が司会を務められました。現役学生からも竹井樹さん(110期)、岡本良裕さん(111期)、松村貴輝さん(112期)、田中佑季さん(112期)が参加されています。記念講演には75期の井田栄一先生がホスピスに関して、学生時代と変わらない口調で、医学とヒトの死について思慮に満ちた良いお話をされました。その後は和やかな雰囲気の中で食事とお話を皆様と親しくご一緒させて頂き、ビールを沢山頂いたので九州新幹線で参って良かったとつくづく感じました。

後日、宮川様からお便りを頂き、この

お盆にはひのくに東筑会で山鹿市の灯笼祭りに出向かれるそうです。なんとも楽しげなお付き合いです。

北九州と熊本のご縁をご紹介した拙文に目に留めて頂いたことで、この会報に多くの方が高い関心をお持ちである事が判りました。

また、各地の東筑会が活発に活動している事を知り、良い経験となりました。北九州くきのうみ東筑会も負けてはいられないようです。

ひのくに東筑会の皆様にはこの度のお招きに厚くお礼申し上げますと共に、これからのご発展を祈念申し上げます。
(会長 末吉信之 記)

70期だより

新たな出逢い ― 還暦同窓会 ―

高校時代と同じクラスになったことがない。話しをしたこともない。彼女が私の存在を認識していたとも思えない。その女性から突然声をかけられた。61歳になった還暦同窓会での出来事だ。

「H君は鹿児島で暮らしています」との話。きょう参加していない同級生のその後の消息を、彼女から伝えられた。

昭和47年3月卒業、40数年経った。職場での現役はほぼ終えた。家庭での子育ても時を越えた。世間とのしがらみも変化した。家庭環境も、子育てから介護へ。素直に高校時代を振り返る世代になった。東筑高校70期卒業生の同窓会だ。

事前準備では、会場が二転三転した。海峡クルージングや温泉泊も検討されたが、様々な事情から実現直前でボツ。結局、県外からの交通の便などを考えて小倉駅前となった。コレット12階「花葡萄」が会場となった。小倉駅の新幹線やモノレールを見



折尾駅から当時の通路を歩いて正門で記念撮影

小倉駅前の会場へ。

大きな海で泳いでいた鮭も、生まれ故郷の川に戻る。その時は、かつての自分の姿ではない。これまでのそれぞれの道のりは、平坦ではなかっただろう。

同窓会で会えるのは、昔の同級生ではない。懐かしい顔が、あの頃のメロディが、かつての自分自身に逢わせてくれる。今の自分自身を映し出してくれる。

同窓会は、過去の友人に会うためではない。新しい友人と、新しい自分に出逢うため。

旅はまだ終わらない。
平成26年秋 (安高澄夫 記)

71期だより

殖生先生の授業と 還暦記念事業のお知らせ

①殖生先生の古典の授業と71期会懇親会恒例となりました殖生先生の授業は今年で9回目です。今年は山上憶良の貧窮問答歌がテーマでした。

生涯は齊明天皇から元正天皇の治世。白村江の戦い、壬申の乱、大宝律令の制定、平城京遷都、長屋王の変と、世の中が大きく変動する時期を生きた74年の人生でした。民衆の極貧の生活に思いをはせ、「世の中を憂しとやさしと思へども 飛び立ちかねつ 鳥にしあらねば」で結んでいます。先生の豊富な知識から湧き出るお話に、あつという間に楽しい授業は終了しました。

今年は25名もの方々が出席の東筑会総会、続いて黒崎で71期会総会を開催しました。秋に予定している還暦記念事業について説明をしました。

- A ②71期還暦記念事業のお知らせ
 - A 2泊3日の旅行
- お伊勢さん還暦のお礼まいり&平等院

詳しくは、旅行社から全員に発送する郵便、71期のHPやフェイスブック、東筑会のHPにてご案内しています。
私達71期生が行う大きなイベントは、ひよっとしたらこれが最後になるかもしれません。

B 日帰りのバスハイクルーツ狩り、バーベキュー&温泉、事情により宿泊等が困難な方や、日程的に10月が難しい方もどうぞご参加ください。
同期の松木君の果樹園でフルーツ狩りとバーベキュー。希望の方は温泉につかりましょう！(源じいの森)ご家族、お孫さんとのご同伴もどうぞ！

探訪平成27年10月10・12日。全行程の参加でなくても、どちらか一泊でも、懇親会のみ参加でも大歓迎します。



懇親会では25名に！授業後にハイポーズ



53 リレーマラソン

53(ゴミ)走ラン会は、リレーマラソンに参加するために東京東筑会S53年卒のメンバーで始めた。ハシリグの会です。
思えば3年前、健康が気になりました。年頃を迎え「飲み会ばかりじゃいかんばい」(当時はまだ珍しかった)リレーマラソンとやらに出てみらんね」と同期の女子と立案。そこは思い立ったが吉日の53仲間、速攻で賛同者を招集、エントリーしたのが

53走ラン会快走中!!

76期だより

お忙しいこととは思いますが、多数の皆さんの参加を心からお待ちしています。
毎年授業をして下さり懇親会にもご参加の植生先生をはじめ、今年の幹事の石丸君と栗原さん、パンフレット作成と旅行担当の三橋さん、還暦事業実行委員の松尾君、小田切君、岡さん、事務局長の林君、どうもありがとうございました。
問合せ先は林事務局長までお願いします。
FAX 093-602-3255
Email acmorio@circusocn.jp
(会長 三宅正輝 記)

きっかけでした。
味の素スタジアムで行われた初陣は、女子3名、男子4名+1名(救護班兼応援団)計7名のわかチームで挑みました。3時間何周走れるかというレースでしたが、集ったメンバーは意外にも大奮闘。各々の汗の滲みこんだ襦をつなぎ、フルマラソンの距離約43キロを走破、見事なデビュー戦を飾りました。完走後は銭湯で身を清めたあと、消費したエネルギーをアルコールで補填しながらの反省会が、延々と繰り広げられました(こちらの方が耐久レース?)。ちなみにこの反省会も最近では、合理的に青空の下でのブルーシート宴会へと進化しております。

2回目からは、フルマラソンの距離をチームで走り切る形式のレースに、5、6名編成の2チームで参加しております。お揃いのオリジナルTシャツを身にまとい、ほぼ半年に1回のペースで出走、今年5月の大会で7回を数えました。
皆、50代も後半戦に差し掛かっていると、さすがに身体のだこかしらにガタがくるものであります。非常時のためにと二ト口を首からぶら下げて快走する勇者、重力に逆らい重い身体を引きずりながらもけなげに前へ進もうとするメタボな男子もいます。
最初は、脅迫めいた誘いで無理やり走るようになった者や巧みな口車に誘われてつい参加することとなったメンバーも、いつのまにかリピーターとなっており、普段の運動不足の解消にと始めたもくろみの成果がでてきたことを強く実感しております。次第です。そして、今後も53走ラン会は、止まることなく走り続けます。
(山元 明 記)



82期だより

関西東筑会当番期と50歳の修学旅行



50歳の修学旅行 建仁寺にて

関西東筑会では50歳を迎える年に当番期を担当することになっており、本年5月30日に開催された関西東筑会総会・懇親会では、我々82期生が当番期を担当致しました。
3年前「東筑(ここ)から始まる」を合言葉に本会、東京東筑会で活動した82期の当番期活動もこの関西東筑会で最後となり、関西在住者を中心に長期間準備を重ねました。当日は北九州、東京、北海道、そして

これからの東筑会の情報は ウェブサイトでチェック!!



- 必要な情報はプリントアウトで即保管。
- 懐かしい校歌や一本松や正門を掲載。
- 場所もスグに確認できる、お問合わせアクセス。
- 同窓会期リンク集を掲載。

www.tochikukai.jp
スリーダブリュー トウチクカイ ジェイピー

新住所を事務局へご連絡ください

☆住居表示に変更・改姓・転居された方

- *個人情報保護の観点から会員個人情報は適切に管理し、正確性・安全性の確保に努めます。

事務局 Tel 093-603-6815 Fax 093-603-6820
E-mail tochiku_k@ybb.ne.jp (担当 藤澤)

ロンドンからも応援に駆け付け、総勢72名の82期生が大阪に集結しました。関西東筑会総会・懇親会も出席者192名と過去最大規模となり、盛会のうちに終わりました。

懇親会終了後、「琵琶湖ホテル」に場所を移し、82期生だけの「50歳の修学旅行」が始まりました。当番期の緊張感から解放され、心地よい達成感のもと、ホテル宴会場での同期会は大いに盛り上がり、二次会、三次会と明け方まで続きました。

翌日は京都観光です。京都に移動し、建仁寺を拝観したあと、座禅コース、祇園・花見小路通コース、東山散策コースの3班に分かれての観光となりました。いずれのコースも京都に精通した関西のメンバーの企画で、北九州、東京の同期からも大好評でした。観光のあと、幕末、桂小五郎を匿ったことで有名な料亭「幾松」に集合し、鴨川沿いの川床で昼食。同期会四次会を行い、解散となりました。82期の当番期活動を「50歳の修学旅行」で終えることができ、同期の絆が益々強くなったことを実感しました。

次は10年後の「還暦旅行」が計画されていますが、待ちきれそうにないので毎年の同期会開催は勿論のこと、有志での旅行等も企画できたらと思っています。同期の交流がずっと続くことを心より願っています。(西村友伸 記)

編集後記

おかげをもちまして、会報36号が発刊の運びとなりました。会員の皆様方のご協力には毎回頭が下がる思いです。本当にありがとうございます。

さて今年も、「文武両道」・「質実剛健」の精神を深く感じる母校の活躍に胸を躍らせた。学業面での進学実績もさることながら、「国内ジニアス研修」、「ようこそ先輩講演会」の取組等の東筑の特色が着実に継続されています。特に、「ようこそ先輩講演会」は大変ユニークな企画です。様々な職種で活躍している東筑の先輩OBを講師として招き、国際情勢や国内外社会の動きを聞いて、自分自身の将来の進路選択に生かすというものです。生徒達にとって、自分の将来の職業について真剣に考えるよ

いきつかけとなったことでしょう。スポーツでもよく活躍してくれました。夏の高校野球予選の結果は県大会ベスト8でしたが、その戦いぶりは堂々たるものでした。また、ラグビー部が埼玉県熊谷市で行われた第16回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会へ出場しました。予選リーグ2位で惜しくも決勝トーナメントへの出場は叶いませんでしたが、東筑ラグビーが全国を舞台に駆けめぐってくれました。話は変わりますが、新国立競技場のデザイン変更や東京オリンピックのシンボルマークの白紙撤回等で、現在少なからずの混乱があり、国際的な信用も一時的に低下しています。しかし、日本人は少々の困難は国民あげて乗り越えてきましたし、今回もそうなると思う信じています。何事も前向きに考えていきたいものです。

さて、今年「戦後七十年」の節目の年です。戦争や平和について、マスコミ等で大きく取り上げられています。

今夏、フィンランド、バルト三国(エストニア、ラトビア、リトアニア)とポーランドに行く機会がありました。どの国も大変親日的であり、日本に対し、強い信頼感をもってくださっていると感じました。その中で、日本人として大変元気が出る印象的な話題を一つ紹介させていただきます。

リトアニアでの杉原千畝氏の功績です。大戦当時、日本領事代理として赴任していた杉原氏は、ドイツ軍の侵攻に伴い、隣国ポーランドから迫害を逃れて流入してきた大量のユダヤ人に対し、日本への通過ビザを発給し、欧州からの脱出を支援しました。

そのビザは、「命のビザ」とも呼ばれており、これにより約6,000人ものユダヤ人の人命が救われたといわれています。外務省の方針に反してのビザの発給でしたが、極めて人道的見地から、身辺に迫る戦争の危機の中にありながら、ソ連政府からの退去命令が下った最終日の列車が発発するまで、ビザを書き続けたのです。

彼が執務した旧日本領事館はカウナスにあり、現在「杉原千畝資料館」として大切に保存されています。寝る間も惜しんでビザを発給し続けた執務室も見学することができます。また、首都ヴェリニユスには、「杉原千畝メモリアル」なるものが設置され、桜の木、植樹の側には広島で被爆した線路の敷石も展示されています。更に、「スギハラ通り」という道路まであるのでびっくです。日本人としてとても嬉しく感じました。

杉原氏のこの人道的な業績は国際的に高く評価され、イスラエル政府からは、日本人として唯一「諸国民の中の正義の人賞」(ヤド・ヴァシエム賞)で表彰されています。現在、エルサレムの丘には、彼の顕彰碑がそびえています。日本においても、現在、外務省外交資料館に顕彰プレートが設置され、「勇気ある人道的行為を行った外交官」として彼の功績がたたえられています。

このような世界に誇るべき人道的行為を行った杉原氏の功績が少しずつ広がってきていることは、大変嬉しいことです。戦後70周年を期に、ドラマや映画も作成されています。学校教育現場等でも、もつと取り上げられることを期待しています。今後とも日本が、未来永劫にわたり平和な時代を維持していくことを強く願いつつ、東筑高校とは直接つながりこそありませんが、日本がもつと元気になる話題を提供したく、掲載させていただきました。

最後になりましたが、今後とも皆様方のご意見をいただきながら、会報委員4名で力を合わせ、「読みやすく、活力ある」東筑会報「づくり」に今後とも力を入れていく所存です。会員各位の率直なご意見、東筑会の方々が益々元気になるような話題がありましたら、事務局までご提供ください。皆様の様々な声をお待ちしております。

東筑会会員の皆様方のご支援・ご協力に深く御礼申し上げます。会報の編集後記といたします。ありがとうございます。

会報委員長 青野元昭(70期)